

キャラクター名 アナベル・ノット・フォールン	プレイヤー名
---------------------------	--------

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	剣士	性別	女	年齢	15
冒険者Lv	7	経歴	規律に厳しい環境で育った		
経験点	800				

技	17	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	4	3	2	26	4				
体	7	敏捷度	6			23 + 1	4	スカウト	4		
		筋力	6	3		16 + 2	3				
心	3	生命力	7	3		17	2				
		知力	8	1		12	2				
		精神力	9			12	2				

戦闘特技		IB31	p	p
武器習熟A/ソード	両手利き	IB32	p	p
武器習熟S/ソード	二刀流	IB30	p	p
			p	p
			p	p
			p	p
			p	p
			p	p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
シャドウ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術		

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	7	11	11	10
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	クロスアーマー		1	0	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	フェンサー			合計値	11 2

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
一族の短刀 <small>指から、刺している短刀。グリップの部分は何回も書きなおされた痕跡があり、使い込まれている。元：ダガー</small>	1H投	3		2d+ 11	9	13	3										
月詠 <small>専用装備化（器用度+2）、ミスリル化（+4000G） 元：ピアシング</small>	1H投	4		2d+ 11	8	13	14										
投げナイフ <small>元：ダガー</small>	1H投	3		2d+ 11	9	13	3										
投げナイフ <small>元：ダガー</small>	1H投	3		2d+ 11	9	13	3										
投げナイフ <small>元：ダガー</small>	1H投	3		2d+ 11	9	13	3										
投げナイフ <small>元：ダガー</small>	1H投	3		2d+ 11	9	13	3										
天照 <small>専用装備化、（器用値+2）、元：ピアシング</small>	1H投	4		2d+ 11	8	13	14										
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3	24	72	2d+ 11	2	38

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 8	2d+ 9	2d+ 13	12

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品		説明
頭	マスク	口元を覆う布
耳	リングピアス	金属製のピアス
顔		
首		
背中	ロングマント	膝下までである外套、黒色 羽がついた
右手	能力増強の指輪	
腰	ベルト	ダガーや持ち物をかけることのできるデザイン
足	ブーツ	革製のブーツ
その他		

装備品		説明
左手	能力増強の腕輪	

その他メモ	自動失敗 チェック
性格：義理堅く、受けた恩は忘れず必ず返す。物静かな性格	□□□□⑤
信念：強くなるためなら手段は選ばない。	□□□□⑩
“夜桌”（やきょう）と呼ばれる組織はシャドウで構成された一流の作業員、諜報員などの裏稼業組織で、“夜桌”は代々（フォールン）の一族がトップを務めており、（アナベル）もまたトップになることを期待されていた。そしてその“夜桌”は100年に一度、選ばれた成人のシャドウたちに試験が与えられ、その試験をクリアすることで一員になることができる機会がある。しかし（アナベル）は、力を発揮することはできず、試験をクリアすることができなかった。期待されていたにもかかわらず、落第し、（フォールン）の名前に泥を塗ってしまった（アナベル）は現当主（現夜桌トップ）から勘当されてしまった。そこで（アナベル）は「冒険者になって実力をつけるから、帰ってきたときにもう一度“夜桌”に入るチャンスをくれ」と持ちかけた。すると現当主は「次戻ってくるときに、私と戦え、もしそれで勝てたらそれを許そう、しかし敗北は自らの死と思え」と言い残し、（アナベル）を追い出した。（アナベル）は“夜桌”に所属するため、技を磨くため旅に出た。（アナベル）は実は自分は密偵だと思っていたが、実は剣士の方が適性があった。というのも、フォールンを含め夜桌の試験を受ける受験生の中でトップクラスの剣技の使い手だった。しかし、スパイなどにも重きを置く夜桌にとっては、スカウト技能（知力）が必要だったが、（	□□□□⑱
	□□□□⑲
	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

